

エコタウンを中核とする 地域循環拠点形成の検討例

- (1) エコタウン事業をめぐる地域循環圏形成
- (2) 地域循環圏拠点形成の提案

(独) 国立環境研究所

環境技術評価システム研究室長

名古屋大学連携大学院教授・東洋大学特任教授

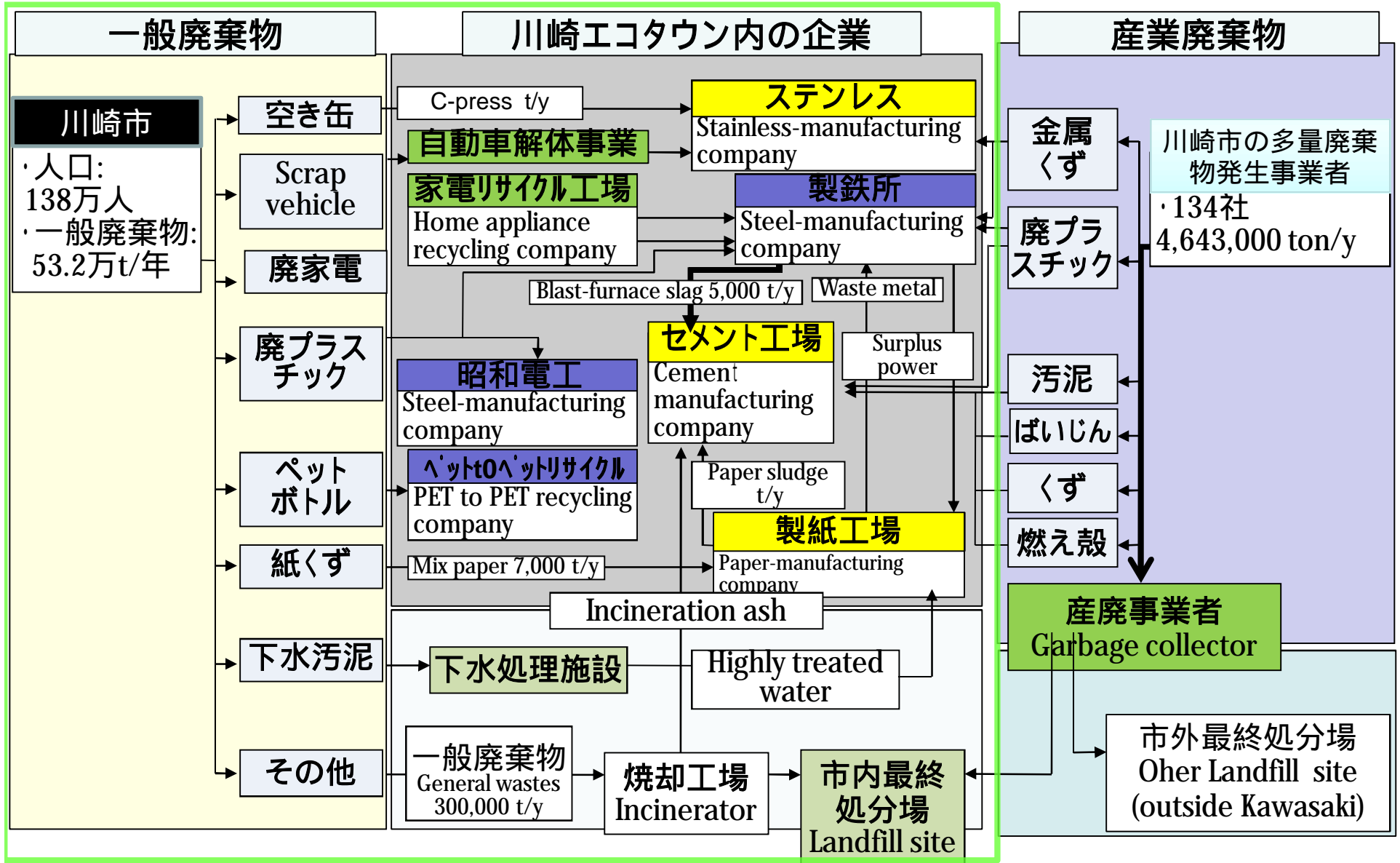
藤田 壮 (FUJITA, Tsuyoshi) (fujita77@nies.go.jp)

名古屋大学講師

藤井実

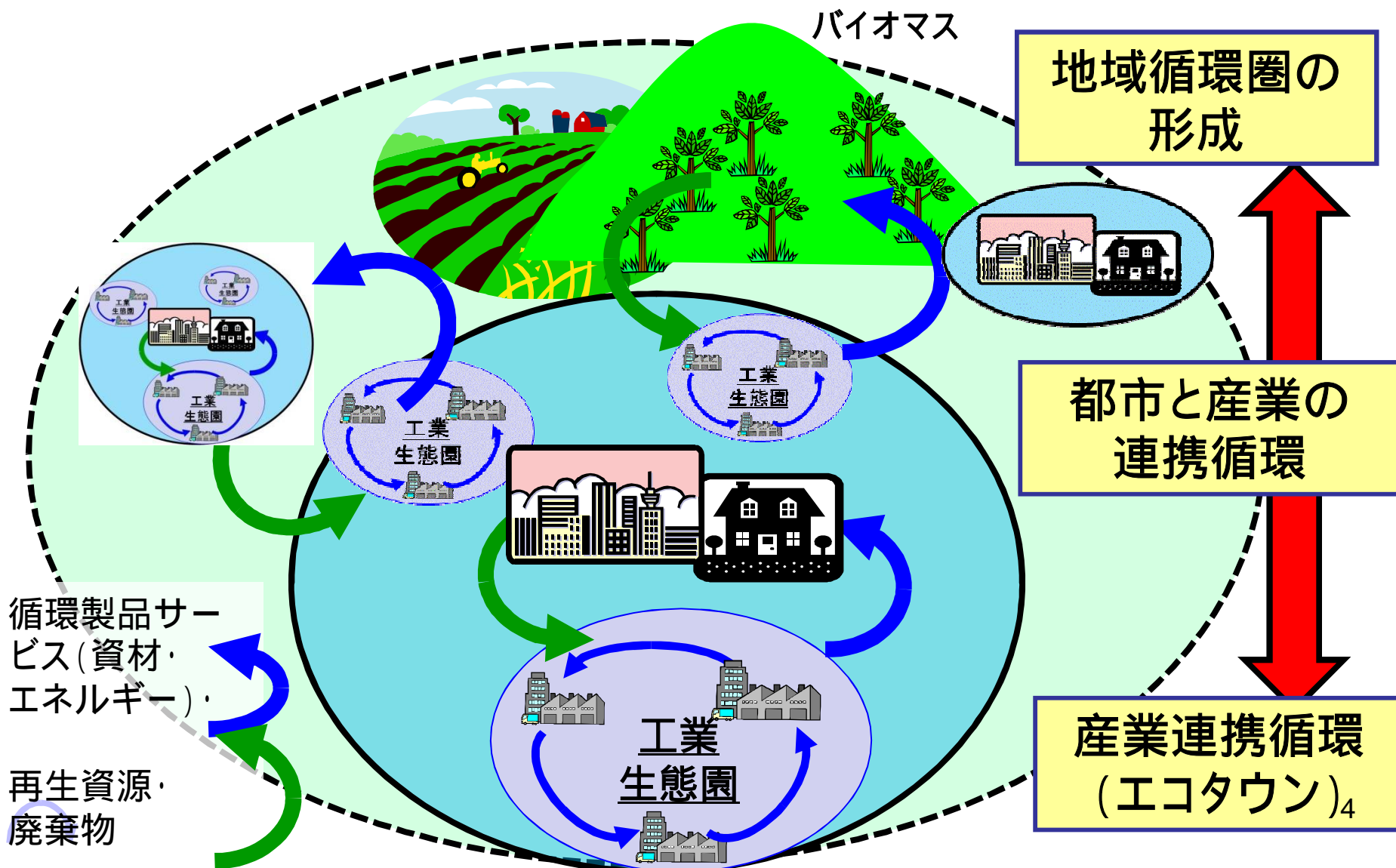
エコタウン事業例；川崎エコタウン

資源循環の地域ネットワークの形成



エコタウン事業の都市、地域循環への展開

資源の特性に応じて、エコタウン内の循環、広域での循環が形成

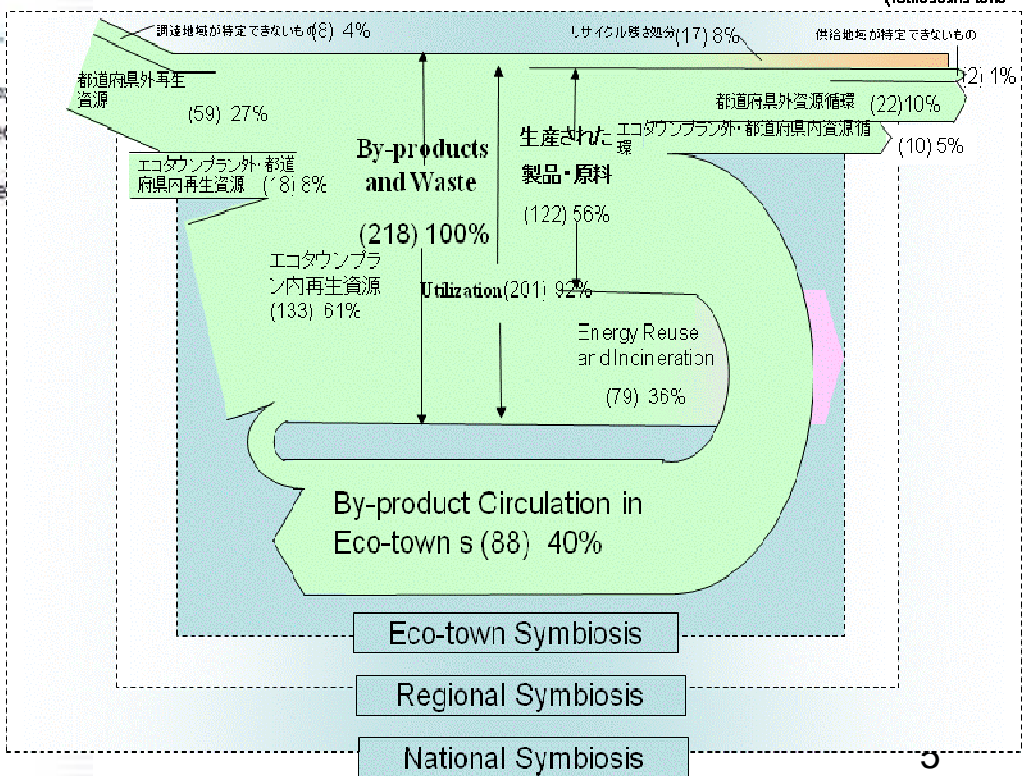


循環型社会の拠点としてのエコタウン事業の調査・分析

1997年から2006年までの10年間で経済産業省と環境省が、26のエコタウンを認可して、62の施設を整備してきた



平成20年度「エコタウンの更なる推進方策に関する調査・検討会」26のエコタウン自治体と170の循環施設の調査・分析



全国の90のエコタウン施設の調査解析

副産物循環利用 (92%)、新規資源代替量 (年間90万t)、
地域循環率 (エコタウン内61%)、CO2削減 (間接) 量 (48万t)

